

埼玉がリーグワン初代王者に輝く

前年までのトップリーグに代わり、今年からスタートしたラグビーのリーグワンは5月29日、東京・国立競技場でプレーオフ決勝が行われ、レギュラーシーズン2位の埼玉ワイルドナイツ（前年までパナソニック）が同1位の東京サンゴリアス（前年までサントリー）に18-12で競り勝ち、初代王者に輝いた。

12チームで戦うリーグワンのデビューシー（一部リーグ）は1月に開幕。埼玉は新型コロナウイルスの影響で開幕から2試合は不戦敗となったが、その後の14試合を全勝。リーグ戦上位4チームが争うプレーオフ

2試合を勝ち抜き、前年のトップリーグ優勝に続いて頂点に立った。決勝では、埼玉が6点リードで迎えた試合の終盤に東京サンゴリアスがゴールライン近くまで攻め込み、最後までどちらが勝つか分からない展開だったが、守り切った。チームを引っ張った堀江翔太選手は「最後の試合で、完璧に近いディフェンスができてよかった」と鉄壁の守備を誇った。

堀江選手が最初の最優秀選手（MVP）に、新人賞には根塚洸雅選手（東京ベイ）前年までクボタ）がそれぞれ選ばれた。



後半、突進する埼玉の堀江翔太選手（中央）



初代王者となった埼玉の選手

宇都宮がBリーグで2度目の優勝

バスケットボール男子Bリーグの年間王者を決めるチャンピオンシップ決勝（2戦先勝方式）第2戦は5月29日に東京体育館で行われ、ワイルドカード（特別出場枠）の宇都宮が西地区1位の琉球に連勝し、栃木時代（2019-20年シーズンから宇都宮に名称変更）の16-17年シーズン以来5シーズンぶり2度目の優勝を遂げた。



決勝第2戦、第4クォーター、攻め込む宇都宮の比江島選手（中央）【代表撮影】



8チームが出場するチャンピオンシップは、レギュラーシーズン両地区上位3位までの6チームと両地区以下の2チームにワイルドカードで出場権が与えられる。宇都宮は準々決勝で東地区1位の千葉に連勝し、準決勝では同2位の川崎にも連勝して決勝に進んだ。決勝では強敵の琉球に第1戦で80-61と快勝、第2戦では終盤に琉球に粘られたが、東京五輪日本代表の比江島慎選手の活躍などで82-75と突き放した。比江島選手は「前半に本調子になれない中で、チーム全員がカバーしてくれた」とチームメイトに感謝した。

柴原選手が混合ダブルスで日本選手25年ぶり優勝

全仏オープンテニス

全仏オープンテニス



全仏テニス・混合ダブルスで優勝した柴原選手、コールホフ組（EPA時事）

テニスの全仏オープンテニスの混合ダブルス決勝は2日にパリで行われ、24歳の柴原瑛菜選手とウエスレイ・コールホフ選手（オランダ）のペアがノルウェーとベルギーのペアを7-6、6-2で下して優勝した。

優勝は、1997年の平木理佳さん以来25年ぶりの快挙。四大大会（全仏のほか全豪オープン、ウィンブルドン選手権、全米オープン）では99年の全米オープンの杉山愛さん以来23年ぶり。柴原組は第1セットを6-1からのタイブレークの末にもぎ取り、その勢いで第2セットも優位に立って快勝した。柴原選手は「夢がなかった。感動して信じられない。パートナーに感謝したい」と喜びを表した。

大会前に9歳上で男子ダブルス世界ランク11位のコールホフ選手から誘われて初めてペアを組み、経験も実績もあるパートナーから対戦相手の特徴を聞いて戦略を立て、短期間で厚い信頼関係を築いた。両親は日本人で、アメリカで生まれ育った柴原選手は2019年夏に日本国籍を選択し、東京五輪のダブルス2種目に出場した。

田中選手が女子2種目で圧勝

陸上日本選手権

陸上の日本選手権は9日から12日まで大阪市で行われ、田中希実選手が女子1500メートルと5000メートルで圧勝し、世界選手権（7月15日に米国で開催）の2種目の代表に選ばれた。

昨年の東京五輪1500メートルで8位入賞の実績を持つ田中選手だが、今シーズンはなかなか調子を上げられ

ず、日本記録を連発していた近年の勢いが薄れていた。「代表選考の対象となる」3位以内を死守できないのではなか」との不安に襲われていた。しかし、大会2日目のレースでは800メートル付近で先頭に立ち、残り400メートルではさらに加速して2位以下に4秒近くの大差をつけてゴールした。田中選手は「負けるのが怖くて自分を見失っていたが、乗り越えることができた」と自信を取り戻したように笑顔を見せた。



女子5000メートル決勝、優勝した田中選手（手前）の力走。奥は2位の広中璃梨佳選手

大会最終日には2種目に出場。まず800メートルでは猛烈な追い上げで1位選手に迫ったが、惜しくも2位。そのわずかに1時間後に5000メートルに出場するという厳しい日程にもかかわらず、22歳の実力者はラスト1周でギアを最高に上げて2位の選手に5秒差の快勝。田中選手は「今年では一番いいレースができた」と納得の走りを振り返った。